

Aisenryo Magazine

2020
Sep
9

ぽぷら

VOL.51

介護老人福祉施設 函館共愛会愛泉寮 広報誌「ぽぷら」第51号





施設長

山石 卓弥

ごあいさつ

新型コロナウイルス感染症の拡大が治まらない状況が続いています。当施設では幸いにも感染者が発生することなく現在に至っています。関係者の皆様には施設の方針についてご理解とご協力いただき深く感謝いたします。

例年であれば春から夏、秋にかけて皆さんと楽しい思い出の日を過ごしていましたが、感染対策により春からの行事を中止しています。愛泉寮では感染予防対策をしたうえで、できるだけ季節の移り変わりを感じていただけるよう工夫をしたと考えています。内容はホームページに掲載いたしますのでご覧ください。また、面会制限に対し実施しているリモート面会も多くのご家族様に利用していただいておりますが、まだ利用されていないご家族様も、居室の様子やご本人のお顔を見ていただければと思います。愛泉寮では感染症が発生した場合に備え、職員ひとりひとりが意識を高め、クラスターを防ぐため体制を整えています。しかし何よりも予防が大切ですので、これからも予防に努めてまいります。

今年も愛泉寮にフレッシュな新人介護職員が入職しました



わだ いくみ
和田 郁美
(舟見坂)

知識や技術を活かし、入居者様が安心安全に生活ができるよう、精一杯頑張ります。



さいとう みさき
齊藤 美咲
(なぎさ)

一つ一つの仕事に責任を持ち、笑顔と真心を入居者様にお届けするよう全力で努めます。



きむらのの か
木村野々香
(二十間坂)

小さな野の花ですが、一つ一つ丁寧に仕事に努め、香り高い花を咲かせたいと思います。



うらかみ あい
浦上 愛
(フクロウ)

理念を忘れず先輩方にサポート願いながら学びを深め入居者様に寄り添っていきます。

鉢植え体験

新型コロナウイルスの影響で外出もままならぬ昨今、入居者様には日常的に目にする緑色を施設内で楽しんで頂きたく、指先訓練として鉢植えを行いました。お花からミニトマトなど、自身の手で苗(種)を植えました。

お花は好きよ、いいわね



堀口キヨ子さん
(カワセミ)

表紙の紹介

二十間坂ユニット設え

- ・金屏風・衣桁・欄間・桐の箆筒
- ・アンティーク掛時計・アンティーク電話器
- ・ドライフラワー・付け下げ・袋帯

昔、着物を着ていただけに全体の雰囲気感激しちゃった



三上ハルエさん(二十間坂)

開寮53周年記念日

永年在寮者表彰(10年)

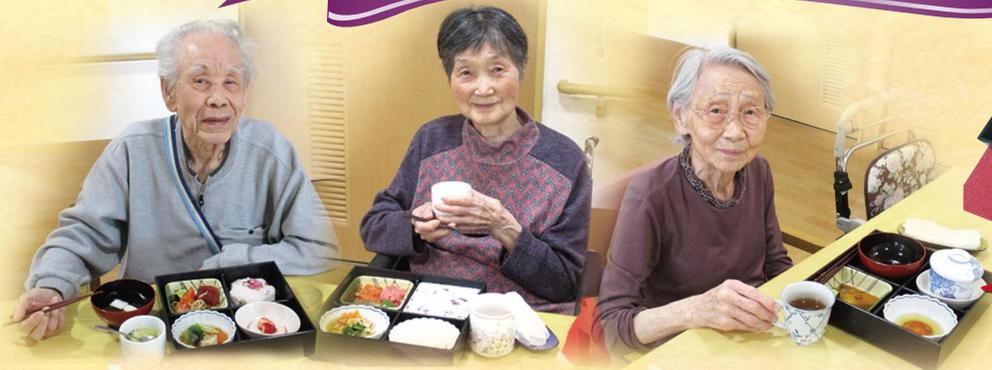


室本淑江さんから一言(幸坂)

「愛泉寮に入居してからの後半の5年間には本当にあったという間でした。今までの出会いとこれからの出会いを大切に一日一日を過ごしていきます。」



開寮記念日祝い膳 昼食(令和2年4月28日)



令和2年4月28日に開寮53周年記念日を行いました。今年には新型コロナウイルスの影響もあり、例年とは違い入居者様が一堂に会しての式典は行わず、永年在寮者表彰はユニット内で行いました。また午後からの「喫茶ともえ」は、職員が注文を取りお届けするスタイルでの実施となりました。なお、経管栄養の皆様にはハンドタオルのプレゼントをお渡ししました。

- ・桜ちらし
- ・はんぺんのすまし汁
- ・刺身(マグロ、サーモン)
- ・吹き寄せ野菜
いこみ高野・たけのこ
落・菜の花・人参
- ・いちごプリンと苺
- ・茶碗蒸し

喫茶無料開放



喫茶無料開放
(出前)





金子先生のご紹介



愛泉寮入居者160名の主治医として愛泉寮の協力病院であり、隣接している共愛会病院より毎週水曜日の午後順次回診を行って頂いています。

入居者様の生活スタイルに配慮した診察、内服薬等の処方や病院受診の指示など、きめ細やかに対応して下さっています。今後も金子先生を中心に入居者様の健康管理に万全の体制で取り組みます。

医療法人 徳洲会
共愛会病院
副院長 金子 登 医師



奈良キノさん(舟見坂)

先生を見るだけで、気持ちが一瞬ホッと落ち着きます。



新型コロナウイルスの感染防止対策の経過



緊急事態宣言は解除されてはいますが、全国的に感染者は増加している昨今、私たちはお互いに感染を予防する行動を考え、そして徹底して行っています。

全館の消毒

各階で責任を持ち、毎日の消毒に努めています。



リモート面会

5月25日からオンライン会議アプリ「ZOOM(ズーム)」による入居者様とご家族とを結びリモート面会を開始しています。



山崎誠二さん(日和坂)

家内と画面で会えるとは思わなかった、便利な世の中になったな

受付の間仕切り

対面対応でのウイルス感染を防ぐため、間仕切りを実施しています。



当施設では全職員が出勤前、出勤時の検温、うがい、手指消毒、マスクの着用を徹底。また、玄関先で帰られる来寮者以外の方々に体温測定と健康チェックシートの記入を実施しています。

食事風景

入居者様も食事前には手指消毒をし、対面ではなく横並び等で食事をしています。





看護課



看護課は看護職員9名、補助員1名の10名で看護の立場から24時間体制で入居者様をサポートしています。主な業務は健康管理や薬の管理、また施設内でできる範囲での医療的ケアなどを行っています。日常生活の中で健康状態の変化を早期発見し適切な対応を速やかに行なえるよう、スタッフ間で協働し連携を図り、今後も入居者様が「安全」で「安らぎ」のある生活を送られるよう、努めて参ります。



職員研修会

— 職員の取り組みの様子をご紹介します —



多数の職員が集まる研修形式を取りやめ、パソコンでのデータ及び、資料配布にて各自自己研修を実施しています。

自己研修5月

食中毒について・感染対策について・身体拘束について

自己研修7月

介護事故について・高齢者虐待防止について・
新型コロナウイルスについて

認定特定行為業務従事者の養成研修

当施設では厚生労働省の通知を受け、介護職員が看護職員と協働して入居者様に対応する医療的ケアの一環を担うため、研修や教育を繰り返し、安全維持に最善を尽くしております。写真は介護職員同志で痰の吸引を練習している風景です。



歩行困難者を避難している様子

消火避難通報訓練(夜間想定)



訓練前に入念な打合せです

6月26日、春季の訓練を実施しました。新型コロナウイルスの影響を受けて密集を避けるため、新たな内容は取り入れませんでしたが、夜間、勤務者が少ない中でどのように職員間連携をとるかを確認しながらの訓練をすることが出来ました。

懐古録 ～広報誌「ポプラ」の由来～

共愛会病院から愛泉寮にかけての亀田川沿いにはポプラ並木が続いていた。おそらく戦前に植えられたのであろう。平成元年、河川拡幅工事のため5本を残してはかなく切り倒されてしまった。

その郷愁をもって広報誌の誌名が「ポプラ」となった。その後愛泉寮をずっと見守ってきたポプラも平成24年、道路舗装のため、全て切り倒されてしまった。このベンチは平成元年に切り倒されたポプラで作成されており、愛泉寮創立以来、寮の移り変わりを現在も見守り続けている。



1階エレベーター前に設置しております

クンシランありがとう



毎年2月から5月初旬まで愛泉寮の玄関先を彩り、私たちの目を楽しませてくれている「クンシラン」。実は毎週月曜日の喫茶担当ボランティアのふっくりんこ：リーダー梶原朋子さんが「皆さんにお見せしたい」と毎年自宅からご持参下さり15年が経ちました。きっかけは約30年前友人からクンシランを譲りうけ、育て始めたそうです。現在自宅では30鉢に加え、自称「花おばさん」を楽しんでいると笑顔で話されてました。



梶原朋子さん

寄付金品 (R2.3~R2.7) ありがとうございました。

(株)ノース技研
ホクレン
農業協同組合連合会
NPO法人ナルク函館
はまなす
最上京子
吉田 晃
安藤朝子



敬称略

吉田晃様の川柳の紹介

枝豆生長記

鉢植え体験時、伊藤さんは枝豆を植えました。その生長の記録です。



早く、食べたいわ



伊藤 ミキさん(さざなみ)



編集後記

新型コロナウイルスの世界感染拡大で私たちの生活様式は昨年と比べ大きく変わりイベント等の延期や中止など社会生活に支障をきたしてまいります。一刻も早く「普通の、普段の生活」を送れるように願うばかりです。

介護職員 松谷 恵介

新型コロナウイルスの発生に伴い色々な場面で、規制や制限の対応に戸惑いながら日々を過ごしています。まずは、出来る事からと基本的な手洗い・含嗽・マスクの着用から取り組み現在では全職員施設内にも定着しています。これからも入居者様が安全に生活が送れますよう心掛けていきたいと思っております。

看護職員 村井 里美

今年、戦後75年を迎え改めて戦争の記憶を風化させてはならないと思いました。平穏な日々が永遠に続くことを願います。平和な世の中だからこそ、亀田川沿いの小鳥のさえずりが私たちのこのころと身体をやさしく包み、気持ちを豊かにしてくれます。

生活相談員 関川 敏江

広報誌編集係

白鳥 昇 寺沢 育作
星 奈見 島村 美香

